

RV340またはRV345ルータのルーティングテーブルの表示

目的

ルーティングは、ネットワークを介して、あるホストから別のホストにパケットを移動するプロセスです。このプロセスのステータスは、ルーティングテーブルに表示されます。ルーティングテーブルには、ネットワークのトポロジに関する情報が即座に含まれています。通常、ルーティングテーブルは、トラブルシューティングとモニタリングを目的として、ネットワーク経由でのパケットの配信のステータスを判別するために使用されます。

この記事では、RV340またはRV345ルータのルーティングテーブルを表示する方法を説明します。

該当するデバイス

- RV34xシリーズ

[Software Version]

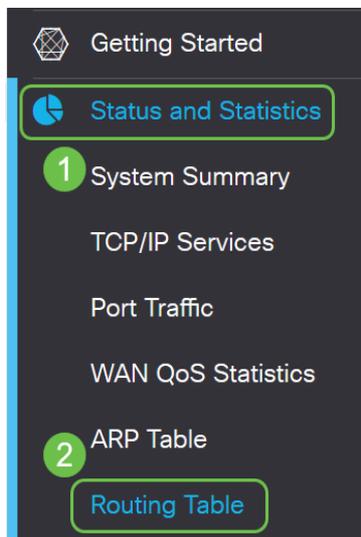
- 1.0.02.16

ルーティングテーブルの表示

ステップ1：ルータのWebベースユーティリティにログインします。



ステップ2:[Status and Statistics] > [Routing Table]を選択します。



注：古いバージョンのファームウェアを使用している場合は、[Status and Statistics] > [Routing Status]に移動します。

[ルーティングテーブル(Routing Table)]ページに、IPv4とIPv6に関する次の情報が表示されます。

- 宛先：これは、接続のインターネットプロトコル(IP)アドレスとサブネットマスクです。
- ネクストホップ：送信元を離れた直後にパケットによって取得されるIPアドレスです。パケットが経由できるホップの最大数は15です。
- メトリック：ネットワークトラフィックを送信するための最適なルートを決定する際のルーティングアルゴリズムの数です。
- Interface：ルートが接続されているインターフェイスの名前です。
- [Source]：ルートの起点です。

Routing Table				
IPv4 Routes				
Destination	Next Hop	Metric	Interface	Source
0.0.0.0/0	24.220.	6	WAN2	Static
10.2.0.0/24	-	0	VLAN1	Connected
10.100.1.0/24	10.2.0.175	2	VLAN1	RIP
24.220.1	-	6	WAN2	Connected
192.168.0.0/24	10.2.0.1	1	VLAN1	Static
192.168.1.0/24	10.2.0.1	1	VLAN1	Static
IPv6 Routes				
Destination	Next Hop	Metric	Interface	Source
2001:4818::	::	256	WAN2	Connected
fe80::/64	::	256	VLAN1	Connected
fe80	::	256	WAN1	Connected
fe80	::	256	WAN2	Connected
fec0::/64	::	256	VLAN1	Connected
::/0	fe80:	768	WAN2	Static

これで、RV34xシリーズルータのルーティングテーブルページが正常に表示されたはずですよ。